

緑のマイスター 第2期 報告会代替資料 コメント

永村裕子

01 デコトラ

とてもポジティブなレポートで、拝読するだけでこちらも楽しくなりました。軽トラガーデンの歴史については、私のほうが勉強不足だったところも分かり、勘違いが正されました。取り組みに対する良いところをたくさん引き出す姿勢が印象的でした。展望についてもよく考察されていると思います。

プレゼンテーションの面でも、理路整然としていて、スッキリと自分の言葉、誰でも楽しめそうな素直な表現でまとめられていたと思います。

作品は、それぞれのご家庭から持ち寄った手作り感のあるプランターや寄せ植えに加え、テーマに沿った装飾・小物もあって工夫が見て取れます。並べ方も立体的に、運転席側の壁面をカバーして、背の高いものを寄せつつ、手前の方にはベンチや地上の飾り付けに目線が自然に流れるようにしてあります。そして、トレリスにバナーを貼り付けて、「何をしようとしているのか」というものをはっきりと示されているところが、とても説得力のある作品にしていると思います。

メンバーの皆さんのアイデアを持ち寄って、1つの大きな、そして新しい作品を作る時間が宝物になればと思います。今後の展開も楽しみです。

02 「杜の都」 チーム

頑張られたと思います。特にマッピングは手書きでしょうか？だとしたらその手間も想像に難くないです。

報告書からは色々と調べ物をした痕跡も窺えます。それを整理する意味もあったかと思います。

特に良かったと思った点は、フィールドワークが丁寧で、街路の名称の由来も含めて、数多くの樹木を漏らさず記録した点です。

現況解説の部分が一番興味深く、さらに広げて欲しいと興味をそそられました。

また、せっかく文献調査や現地調査をされたので、それを活かして、報告書には独自の考察や対象地の事例に焦点を当ててみると、よりよいものになるのかなと思いました。

また結論の部分については、このプロジェクトを通して学んだこと、次への展望、経験に基づいた気づきを伺ってみたいですね。

03 土曜の KYMY

このグループの成果品の素晴らしさに圧倒されました。イラストレータを使いこなす技術があったことや、画力が高いといったメンバーのアドバンテージ以上に、膨大な情報をいかに一眼見ただけで伝わって、理解できるように纏める能力の高さが抜群でした。プロの腕前以上だと思います。使用画像の著作権問題さえなければ、そのまま緑化フェアの配布資料として使用できる、使用しないともったいない出来栄です。

また、対象地のストリートガーデニングにも積極的に参加していただき、率直な感想もいただけてありがたかったです。確かに、使用した球根の品種など、今年が緑化フェアを迎える特別な年だっただけに、少し今まで見たことのないような、驚きをもたらす品種を混ぜたのは事実です。これからは秋と冬の作業の伏線回収とサプライズの時間ですので、是非、完成した植物図鑑と見比べてリアルな花と対面を楽しんで下さい。

04 くまもと文学・歴史 花と緑の探偵団

発想のユニークさが素晴らしい取り組みです。全編に探究心が溢れています。また、「花とみどりの散歩道」もイラストを交えながら、たくさんの情報をコンパクトにまとめ、またそれぞれの植物エピソードもよく調べてあると感心しました。教養の読み物としても、読み応えがあるのではないのでしょうか。また、研究への導入部から調査実施、そして結論に至るまでの流れと考察の深さから、学術論文や研究を日頃からなさっているのではと推察します。レベルの高さを感じます。

個々の作家のエピソードを揃えた本論も良かったですが、この活動を通して、熊本文化と自然の豊かさを再確認し、共存・共栄の継承の決意に至ったことを、とても嬉しく思います。大きな成果です。お見事です。

05 五つ葉クローバー

計画の目標設定で、キャッチーな標語作りが上手で、それが単純に言葉遊びに終始せず、植栽を体験する上で明確な指針となっているところに感心しました。構想は大事ですね。

そして、細かく丁寧に経過観察をされ、植物の微妙な変化にも気付き、実際に実習期間の3ヶ月間の間でのプランターの動きを記録されました。植物を育てる楽しみとはこういうこと、そして、全ての植物の今後の変化も気になるところではないでしょうか？

振り返りの感想は、皆さんそれぞれ素直な感想が現れていたと思います。体力や準備など、人それぞれ感じ方も違ったようですが、押し並べて植物を実際を選んで、配置して、植えて、お世話して、成長を観察するプロセスを楽しめたことが伝わって良かったです。

06 東野ロード・グリーンの会

実は私がサクラマチ周辺で実践しているストリートガーデニングの初期とそっくりで、大変さと面白さがすごくよく分かります。実際には、メンバーの一人が何年も前からボランティアで管理されてきたところだと承知しています。またここも、ガーデニングレベルでの花壇を想定して設置された植栽柵ではないので、散水栓までの距離が、今後の管理の上で心配なところであることも、自身の経験と重なります。夏越しは大変ですが、頑張ってください。

一連の花壇が、時間と共に魅力を増していった、素敵な街作りが続くことを願っています。きっと少しずつ、参加者も増えていった、また新しいストーリーが紡ぎ出されていくのではないのでしょうか。そんな期待も寄せています。

07 さわがにの会

地域で活用できる素材（竹）とアイディアを使った素晴らしい事例です。その後のアンケートまで実施して、地域の人々の反応も可視化したのは、画期的だと思います。そして、園芸を楽しむことと、竹林や戸島山の保全にまで、良い影響が広がる可能性を秘めています。

また、この活動で特記すべき点は、活動を通して資金を稼ぎ出しているところです。募金竹筒も無事に協力金を集めました。かぐや姫と名付けられた可愛い竹プランターの花苗たちも全て捌けたようで、この成功体験が次に繋がっていくのではないかと思います。

アンケートによって、giver と taker の間で意思疎通が成立し、励ましの言葉を回収できたのは、大成功と言って良いのではないのでしょうか。更なるご活躍を期待しています。

08 桜

講座出席の時から、課題探究型の活動を企画し、実施することに戸惑われていた様子が見受けられましたが、活動報告では、活動の様子や反省点から苦勞が分かり、活動が無事できたということが分かりました。

チラシを作成して地域にも活動参加を呼び掛けられたことも積極的で良かったと思います。

また11月28日に、様々な花苗や球根を植え付けられて、その後の様子になりますね。
2月に入ってから春の芽吹きなどの変化があると思いますので、ぜひそちらも拝見したいですね。

報告資料では、工事写真帳のフォーマットを利用し、写真を整理して、報告していただきましたが、報告資料やプレゼンテーションについては、もっと個人的な感情やユーモアを添えて、意工夫してみると、より興味深いものになるのかなと思いました。

09 「この木なんの木」会

シンプルに「このようなものがあっていいな」とニーズを見つけて取り組まれる中に、専門家や職員さんの手助けを躊躇なく借りて、学習しながら成果をあげる好例だと思います。材料費などの経費を負担されたのは、心苦しいです。反面、資金調達に奔走するのが、この実習の目的ではないので、そこに労力を傾けすぎずに済んだところは、安堵しました。

報告書の中の活動写真にも、楽しまれながらされた雰囲気が伝わってきます。そして、名札の清掃（既存のものも活用する）と新しくつけた立派な木製の名札は、立田山を散策する多くの方の役に立つでしょう。木製の名札の出来栄も素晴らしいです。もう一つ重要なのは、現場で柔軟に計画を変更できたところです。名札付けの対象樹木が大幅に増えたようですが、それも現場での発見ですね。

10 Team Sunday

実習期間が冬である制約から、アイデアを活かして、身近な自然にあるものを使ってクラフトを制作する試みです。また、コロナ禍という2重の制約のなか、体験教室も叶いませんでしたが、目標として掲げられており、のちに実現される可能性も秘めています。

作品も上手です。とてもセンス良く繊細なディテールとバランスの良さがみて取れます。きっと楽しく制作されたことと思います。

そして、色んなアイデアを絞り出したり、活発なコミュニケーションが職業や年齢を超えてなされたことが成功とだと思います。

11 チームひまわり

情報収集と集約が徹底して行われていて、精度の高いマップができました。報告書の 6,7 ページの写真が物語っています。表現の方法も、よく考えた末に、非常に分かり易く見た目も美しいものに仕上がっていると思います。活動期間が秋～冬でしたので、特定しにくい樹木もあったかもしれませんが、果敢に挑戦されたのが伝わります。

葉っぱを使ったマップというユニークさも光っていました。今後も、学んだことをお仕事に生かす意欲につながっているようですし、確実に来園者への情報提供も役に立つでしょう。立派な成果だと思います。